

# 読書ボランティア紹介

## 岩代図書館ボランティア おはなしタンポポ

子ども読書推進のため

岩代図書館ボランティアおはなしタンポポ  
(二本松市)

令和元年7月6日(土)訪問

**登録人数** 14名 (令和元年7月現在)

**創設年月** 平成4年10月

**活動場所** 二本松市岩代図書館・旭公民館

**活動内容** 読み聞かせ、ビッグブック、パネルシアター、紙芝居、ペープサートなど



岩代図書館の開設に伴い発足した読書ボランティアです。現在では、岩代図書館や旭公民館を拠点として定期的に行われる「おはなし会」のほかに、七夕やクリスマスの「おはなし会」などで読み聞かせ活動を行っています。

特色ある活動の一つが「地域に伝わる昔話の掘り起こし」です。地域の方からの「昔から伝わる話を残してほしい。」という願いを受け、この活動を始めたそうです。聞き取った話をもとに再話してパネルシアターや大型紙芝居に表し、読み聞かせ会や二本松市の読書イベント等で発表しています。また、昔話をメンバーの手作りによる「岩代の昔話」という冊子にまとめ、岩代地域の幼稚園や小・中学校に寄贈しています。地域の文化を大切に、後世へ語り継いでいく活動に力を入れて取り組んでいます。

### 活動の実際

訪問当日は、岩代図書館と旭公民館で「七夕のおはなし会」が行われました。

今回取材した岩代図書館では、「おはようございます。」と子どもたちが元気にあいさつをしながら会場に入ってきました。おはなしタンポポのみなさんは、日頃から子どもたちにあいさつの大切さを呼びかけているのです。子どもたちのお話を聞く態度もすばらしく、子どもたちの心が豊かに育っていると感じました。

おはなし会は3部構成です。はじめは「ゲーム」です。子どもたちは、じゃんけんやダンスで体を動かしていました。

体も心もほぐれたところで、いよいよ紙芝居。「なぜ七夕に笹飾りをするの？」というお話を、ボランティアの方が思わず話を聞きたくなるような心地いい声とテンポで読んでくださいました。子どもたちは目を輝かせながらじっと聞き入っていました。

最後は「つくってあそぼう」です。ビニールの竹の枝に、折り紙で作った笹飾りや短冊をつけていきます。子どもたちに寄り添いながら、ていねいに教えているボランティアのみなさんの優しさがとても印象的でした。

